

平成 28 年度

「校長経営戦略支援予算決算報告書」

大阪市立矢田西中学校

校長 児玉 光弘

平成 29 年 3 月

申請受付日
指導部で記入 →
/

【様式 1】

(所属(市費)コード 742696)

大阪市立矢田西中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算配付申請書(総括)

1 学校運営における現状と課題 ※運営に関する計画の 1 学校運営の中期目標欄に記載の現状と課題を再掲

学力面では、学校の落ち着きとともに、全国学力・学習状況調査やチャレンジテスト等において、徐々に効果が表れつつあるものの、まだ基礎・基本の定着が不十分な生徒の割合が多い。また、家庭での生活習慣のあり方などでは課題が残る状況である。

このような状況の中で、「確かな学力」をはぐくむために、生徒の実態に沿ったきめ細かな授業を実施し、より効果的な指導を目指して指導法を深化させる必要がある。また、継続して、生徒に基本的生活習慣を定着させるとともに、しっかりした規範意識をもたせ、生徒の授業に取り組む姿勢の改善や学習意欲の向上を図っていくことが必要である。

2 学校運営の中期目標 ※運営に関する計画の 1 学校運営の中期目標欄に記載の中期目標を再掲

【視点 学力の向上】

- 平成 28 年度の全国学力・学習状況等調査や大阪府チャレンジテストにおける平均正答率で、大阪府平均を上回る。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 28 年度の校内アンケート調査で「授業の内容がよく理解できる」の項目について、「あてはまる (どちらかといえば、あてはまる)」と回答する生徒の割合を 80 %以上にする。 (マネジメント改革関連)
- 平成 28 年度の校内アンケート調査で「家庭学習の習慣ができている」の項目について、「あてはまる (どちらかといえば、あてはまる)」と回答する生徒の割合を 80 %以上にする。 (カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 平成 28 年度の校内アンケート調査で「楽しい学校生活を過ごしている」の項目について、「あてはまる (どちらかといえば、あてはまる)」と回答する生徒の割合を 90 %以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 28 年度の校内アンケート調査で「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える生徒の割合を 80 %以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 28 年度の校内アンケート調査で「学校内のきまりを守っている」の項目について、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える生徒の割合を 85 %以上にする。 (マネジメント改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 平成 28 年度の校内アンケート調査で「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「あてはまる(どちらかといえば、あてはまる)」と答える生徒の割合を 85 %以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 28 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における調査結果で、全国平均を上回る。 (カリキュラム改革関連)

3 中期目標の達成に向けた年度目標 ※運営に関する計画再掲

【視点 学力の向上】

- ① 平成28年度の全国学力・学習状況等調査や大阪府チャレンジテストにおける平均正答率で、大阪府平均との比率（対府比）が前年より上回る。（カリキュラム改革関連）
- ② 平成28年度の校内アンケート調査で「授業の内容がよく理解できる」の項目について、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と回答する生徒の割合を80%以上にする。（マネジメント改革関連）
- ③ 平成28年度の校内アンケート調査で「家庭学習の習慣ができる」の項目について、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と回答する生徒の割合を80%以上にする。（カリキュラム改革関連）

【視点 道徳心・社会性の育成】

- ① 平成28年度の校内アンケート調査で「楽しい学校生活を過ごしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と回答する生徒の割合を90%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- ② 平成28年度の校内アンケート調査で「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える生徒の割合を80%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- ③ 平成28年度の校内アンケート調査で「学校内のきまりを守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える生徒の割合を85%以上にする。（マネジメント改革関連）
- ④ 平成28年度の生徒アンケートにおける「体育大会や文化祭などの学校行事は楽しく充実している」の項目について、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える生徒の割合を85%以上にする。（カリキュラム改革関連・マネジメント改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

- ① 平成28年度の校内アンケート調査で「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える生徒の割合を85%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- ② 平成28年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における調査結果で、全国平均を上回る。（カリキュラム改革関連）

4 27年度の自己評価結果の総括 ※27年度の運営に関する計画再掲

【視点 学力の向上】

平成27年度の全国学力・学習状況調査における知識に関する問題の正答率は、国語については平均が7割台を維持しており、平成28年度の調査（4月実施）も概ね目標を達成できる見通しである。数学については6割台で足踏み状態となっており、達成が微妙な状況である。全体的には、昨年度とほぼ同様であり、本年度の取り組みの効果により目標を達成できるように努めてきた。

学習に対する興味、理解度については、国語・数学において、「勉強が好きだ」「授業の内容

がよくわかる」と回答した生徒が全国平均を上回っており、各教科の指導法や授業における創意工夫や努力の賜物と考えられる。しかし、結果に結びついていない場合もあり、学習内容の定着に向けて一層取り組む必要がある。習熟度別少人数授業やT T授業の実施、指導内容の精選や指導方法の工夫などにより、今後も生徒が明確な学習意欲を持って授業に参加し、学力の定着が図れるよう取り組みをさらに進める。

【視点 道徳心・社会性の育成】

生徒へのアンケートの結果では、進んであいさつをしている（どちらかといえばしている）と答えた生徒は約 8 3 % であった。また、学校内のルール、社会のルールを自然と守っている（どちらかといえば守っている）と答えた生徒は約 9 0 % で昨年から大幅に伸び、現段階で目標に達している。道徳や学活の時間での指導や「朝のあいさつ運動」や「おそうじ隊」などの取り組み、生徒会・部活動を中心にあいさつ・正しい言葉遣いを身につけるなど、日々の学校生活を通して、全教職員が細やかに生徒に対応し、道徳教育の推進に努めた成果があらわれてきた。これまでの取り組みをさらに進めながら、本年度から取り組んでいるキャリア教育の深化も進めていきたい。

【視点 健康・体力の保持増進】

平成 2 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における 2 年生の合計得点は、男女とも本年度も全国平均を上回った。本校の取り組みにより、運動の楽しさやその効果を伝えることについては一定の成果があらわれ、運動やスポーツについて関心を持つ生徒が増えた。小学校と連携して、引き続き運動の楽しさや効果を伝える取り組みを進め、運動やスポーツに対する意識を高めるとともに、実際に運動する環境を整える取り組みを行なう。

また、朝食を食べていない（あまり食べていない）と答えた生徒の割合は、平成 2 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査においては約 1 0 % 程度で横ばいであるが、7 4 % の生徒は、「朝食を毎日食べている」と回答している。引き続き授業や学活等で、朝食の大切さについて考えさせるとともに、早寝早起き朝ごはんといった基本的生活習慣を身につけさせる取り組みを行なう。

5 28 年度の自己評価結果の総括 ※運営に関する計画再掲（年度末に記述）

【視点 学力の向上】

全国学力・学習状況調査の平均正答率の対府比は、国語 A 0.98（昨年度 0.96）、国語 B 1.01（昨年度 0.98）、数学 A 1.00（昨年度 0.94）、数学 B 1.00（昨年度 0.85）となり、いずれも昨年度より上回った。大阪府チャレンジテスト 3 年の対府比は、国語 0.97、社会 1.02、数学 0.98、理科 0.91、英語 0.89、平均 0.96 で、昨年の 2 年の対府比（国語 0.95、社会 0.96、数学 1.00、理科 0.86、英語 0.90、平均 0.94）と比べると、国語・社会・理科で昨年度を上回り、平均で 0.02% 上回った。しかし英語では府平均を 6 ポイント以下回っており、英語力向上を図る必要がある。

校内アンケートで「授業がよくわかる」と肯定的に回答する生徒は 75%で、昨年度の 81.5%から後退したが、3 年チャレンジテストのアンケートの「教科の授業の内容がわかる」で肯定的回答した生徒は、国語 85%、数学 87.5%、理科 92.5%であった。一方で校内アンケートの「意見をまとめたり、発表したりする機会が多い」で肯定的回答が 56% にとどまり、全国学力・学習状況調査やチャレンジテストの質問紙調査でも授業形態の工夫や改善の必要性が浮かび上がっている。

校内アンケートの「家庭学習の習慣が身についている」で肯定的回答が 46% にとどまった。家庭学習を習慣づける取り組みの必要がある。

【視点 道徳心・社会性の育成】

校内アンケートの「学校生活は楽しい」で肯定的回答が 79% で 8 割を切り、昨年の「学校生活はどちらかと言えば楽しい」の 89% より下がった。質問の仕方が変わったことも影響していると考えられるが、88% が「学校は落ち着いて安心して生活が送れる」と回答しており、行事だけでなく学習面での達成感を向上させることで、真に学校が楽しく思えるようにしていかなければならぬ。

校内アンケートの「学校内のきまりを守っている」では 96% に達した。その他「決められた服装を守っている」が 98%、「学校生活において時刻を守っている」が 94% になつておる、規範意識は高いと考えられる。

校内アンケートの「体育大会や文化祭などの学校行事は充実している」で 93% が肯定的回答だった。また教科授業以外の人権、命、道徳、食育、健康、体力、防災等の取り組みについても 90% 以上が学ぶ機会があると回答しており、多面的な教育活動の成果があらわれている。しかし、「自分には自信のあることやよいところがある」の設問での肯定的回答は 61% にとどまっており、いろいろな取り組みや活動を通して、より自尊感情を高めていかなければならぬ。

【視点 健康・体力の保持増進】

全国体力・運動能力等調査では、合計点で男子は全国に及ばなかつたが大阪府を上回つた。女子は今年度も全国を上回つた。男女の合計点の平均は 46.0 で全国の 45.8 を上回つた。

校内アンケートで「朝食を食べている」の肯定的回答は 78% で 8 割を切つた。各種生徒質問紙調査での同様の設問でも全国に比べてやや差がある。食育の取り組みを、家庭への啓発も含めてより一層推進していかなければならぬ。

6 事業執行管理体制名簿

学校長 (児玉 光弘)
教頭 (金森 茂生)
学校事務職員 (宮尾 雅之)

申請受付日	→	
指導部で記入		/

【様式 2-1】
(所属(市費)コード 742696)

大阪市立矢田西中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算 【**基本配付**】配付申請書

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 28 年度の全国学力・学習状況等調査や大阪府チャレンジテストにおける平均正答率で、大阪府平均との比率（対府比）が前年より上回る。 (カリキュラム改革関連) <p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 28 年度の校内アンケート調査で「楽しい学校生活を過ごしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と回答する生徒の割合を 90 % 以上にする。 (カリキュラム改革関連) ○ 平成 28 年度の校内アンケート調査で「学校内のきまりを守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える生徒の割合を 85 % 以上にする。 (マネジメント改革関連) ○ 平成 28 年度の生徒アンケートにおける「体育大会や文化祭などの学校行事は楽しく充実している」の項目について、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える生徒の割合を 85 % 以上にする。 (カリキュラム改革関連・マネジメント改革関連) 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①-1～5 【区分 各教科（1 国語 2 社会 3 数学 4 理科 5 英語）】 ○言語力向上・基礎学力の定着を図る。 (カリキュラム改革関連)	B
指標 ・放課後学習に資料・新聞・その他教材を活用し言語力向上や学力の向上を図る。	
取組内容② 【区分 人権を尊重する教育の推進】 ○互いの違いを認め合い、人権尊重の精神と態度を育てる教育を推進する。また、参加型や体験型の学習内容・方法を取り入れ、感性を高める指導を行う。 (カリキュラム改革関連)	B
指標 ・年に 1 回芸術鑑賞行事を実施し、豊かな情操の育成につなげる。	
取組内容③ 【区分 区分 特別活動】 ○生徒の自主的な運営による特別活動を推進するとともに、各行事において「人と人のつながり」や「絆」を大事にした取り組みをおこなう。 (カリキュラム改革関連・マネジメント改革関連)	A
指標 ・生徒会による週一回の全校集会や、月一回の生徒議会・専門委員会の自主的な運営をおこなう。 ・様々な行事・活動で、「人と人のつながり」や「絆」を大事にした取り組みをおこなう。	

取組内容④【区分 キャリア教育の推進】 ○生徒一人一人が、将来の生き方を考える力を養う取り組みを行なう。 (カリキュラム改革関連)		B
指標　・職業調べ・職場訪問・職場体験学習等を学年に応じて実施する。		
27年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
<p>取組内容①-1 創作活動（1年詩、2年短歌、3年俳句）を通じて言語に親しむと共に、毎時授業の最初に取り組んでいる3単語（新出漢字）に於いて、言語力向上を図る工夫を行なった。</p> <p>取組内容①-2 地理=地図・歴史=資料集・公民=日々のニュースや新聞などを活用し、また、基礎的なプリントにも取り組み、基礎学力の定着を図った。</p> <p>取組内容①-3 問題集やプリントを使い家庭学習をさせることで基礎学力の定着を図った。また、T・Tを行うことで個に応じた指導を行なうことができた。</p> <p>取組内容①-4 問題集を活用したり、実験・実習を精査して行ない、基礎学力の充実が図れた。</p> <p>取組内容①-5 各学年でインタビューテスト・音読テストを実施し、「話す」・「読む」学力を高めてきた。また、リスニングや英作練習・単語テストを通して「聞く」・「書く」技能を高めた。</p> <p>取組内容② 人権尊重の精神と態度を育てる様々な人権教育を行なった。</p> <p>取組内容③ 執行委員会や子連協等において、生徒会役員自身が自動的に動き中心的な存在感を表すことができた。また、校内外の取り組みにも積極的に参加できた。</p> <p>取組内容④ 1年生で、職場訪問を実施。来年度に向けた、職業体験に向けて準備を進めている。2・3年生は、卒業後の進路に向けて、情報を精査し準備を進めた。</p>		
28年度への改善点		
<p>取組内容①-1 より一層の語彙力向上を図るために、指導を工夫する必要がある。</p> <p>取組内容①-2 教科書改訂にともない、新しい資料作りや授業の組み立てに努める。</p> <p>取組内容①-3 低学力生徒の学力を向上させるための指導方法を考える。</p> <p>取組内容①-4 教科書が次年度改定になるので、新しい実験に備え準備する。</p> <p>取組内容①-5 小テストや暗記テストを通して達成感を感じさせ、前向きに頑張る姿勢を身につけさせる。</p> <p>取組内容② さまざまな人権教育を、具体的な年間教育に基づいて進めていく。</p> <p>取組内容③ クラブ活動や地域のスポーツチームに参加している生徒でも、生徒会活動ができるように、活動計画を考え取り組んでいく。</p> <p>取組内容④ キャリア教育が、次年度以降も継続して実施できるよう、資料の整理に努める。</p>		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
<p>取組内容①-1 1・2年生は1年間を通して単元ごとに初発の感想を書かせてきた。1年生では食べたときの食感を伝えるレポーターになりきってセリフを考える活動を行い、2年生では登場人物の友だちになりきって手紙を書く活動を行った。さまざまな取り組みを通して、「書く習慣」を身につけることをねらいとした。</p> <p>取組内容①-2 授業の導入などに日々のニュースなどを取り上げ関心を持たせ授業を進めた。小テストを実施したり、復習プリントを配布し学習することにより基礎学習の定着を図った。</p> <p>取組内容①-3 問題集を利用したり、生徒の学力にあわせたプリントを作成することで、反復することから基礎学力の定着を図った。</p>		

取組内容①-4	実験・観察を多く行うことで、自然現象への興味・関心を高め、基礎学力の定着につなげることができた。また、昨年度に続き、理科室の整備も少しずつではあるが、進めることができた。
取組内容①-5	各学年でT. Tによる授業を行い、基礎が定着していない生徒に対して単語・文法面をケアしつつ授業を進めた。文法の定着を重視する為に文法の WS を多く使用。特に 1 年生と 2 年生では定期的な単語テスト、単元テストを用いて単語、文法の定着を図った。また、アクティビティや音読などを通して発話活動を積極的に取り入れた。
取組内容②	原爆についての学習を中心に平和学習を行った。親子ふれあい人権学習での場亮さんの感動の名場面集を含む講演を聴いた。杜子春の劇を鑑賞し人間にとって大切なものを学んだ。他の様々な取組を通して人権尊重の精神を育てる人権教育を行った。
取組内容③	体育委員や文化委員と生徒会が一緒に運営することで、体育大会・文化祭が無事に開催し成功することができた。また、生徒一人一人に達成感を覚えることができた。後期生徒会も全校集会や執行委員会などの運営に努力している。そして、2 月・3 月の取り組みに向けて日々活動を行っている。
取組内容④	1 年生は 3 学期の職場訪問に向けて、職業調べ・訪問先の事業所調べ・マナー講座を事前学習として取り組んでいる。 2 年生は 6/30・7/1 の 2 日間、職場体験を行った。事前学習として調べ学習・あいさつ訪問を行い、まとめ学習に取り組んだ。 3 年生は進路選択に向けて進路講話を行った。

次年度（今後）への改善点

取組内容①-1	書くことへの抵抗はある程度取り扱うことが出来たようであるが、文章の構成力、言葉を吟味する力についてはまだ課題があるため、今後も「文章力ステップ」などを導入し、継続的に言語力向上のための取り組みを行っていく必要がある。
取組内容①-2	文章を読み、考え、説明する問題が苦手な生徒が多いので、次年度は、文章問題やグラフの読み取を授業に取り入れる工夫をする。
取組内容①-3	問題に粘り強く取り組ませるために、振り返り学習、家庭学習、日々の授業教材から、基礎の定着を今までと同様に図っていく。また外発的動機付けであっても構わないので、自律的に問題にかかわって、問題への問い合わせをもち、解決へ変容させていく。
取組内容①-4	実験器具の老朽化もふまえ、継続して実験器具の点検・整備を計画的に行っていくとともに、基礎学力の定着につながる実験・観察方法の工夫をしていく必要がある。
取組内容①-5	単語習得を目標に全学年を通して授業内で積極的に日々の単語テストを行ったが定着が思うようにいかなかった。来年度では語彙力の向上を念頭におき授業でのリーディング、ライティングを積極的に行い、教科書を通して生徒の異文化への関心も高めるように努める。
取組内容②	人権教育の年間指導計画の見直しをする。地域や外部での多種多様な研修会など学びの場に参加することや、校内研修会をすることにより、人権教育を押し進めていく。

取組内容③ 様々な取り組みにおいて、教員も分担して仕事ができるようにしていきたい。
少しでも生徒会の活動を活性化できるようにしていく。

取組内容④ 次年度以降継続してキャリア教育が実施できるよう、資料を整理し、次年度の学年集団に引き継ぎができるよう努める

【様式 2 - 2】

大阪市立矢田西中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算 【基本配付】配付申請書

学校配付申請額 510,000円

※配付上限額(※円単位)

学校配当	学級数	学級配当	特別支援学級数	学級配当
300,000	+	4	×	30,000

学びサポーター経費

配付上限額	(様式 A 経費合計欄再掲)	学校配付申請額
= 510,000	—	= 510,000

◆学校配付申請額費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料	12-7 損害保険料
	50,800			81,400		

13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費	合計
326,800	51,000				510,000

◆取組内容・予算内訳

取組内容①-1~5 【区分 各教科 (1 国語 2 社会 3 数学 4 理科 5 英語)】

○言語力向上・基礎学力の定着を図る。 (カリキュラム改革関連)

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
11-1	放課後学習用各教科指導用問題集 @2,000×20 冊=40,000 円	40,000
11-1	放課後学習用 天声人語ノート@216×50 名=10,800 円	10,800

取組内容② 【区分 人権を尊重する教育の推進】

○互いの違いを認め合い、人権尊重の精神と態度を育てる教育を推進する。また、参加型や体験型の学習内容・方法を取り入れ、感性を高める指導を行う。

(カリキュラム改革関連)

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
13	芸術鑑賞@326,800 円	326,800

取組内容③【区分 区分 特別活動】

○生徒の自主的な運営による特別活動を推進するとともに、各行事において「人と人のつながり」や「絆」を大事にした取り組みをおこなう。

(カリキュラム改革関連・マネジメント改革関連)

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
12-1	多様な体験学習交通費 @1,000×51名 =51,000円	51,000
14-1	多様な体験学習施設入場料@1,000×51名 =51,000円	51,000

取組内容④【区分 キャリア教育の推進】

○生徒一人一人が、将来の生き方を考える力を養う取り組みを行なう。

(カリキュラム改革関連)

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
12-1	職場訪問学習交通費 @800×38名 =30,400円	30,400

•

•

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

申請受付日	
指導部で記入	→ /
【様式 3 - 1】	
(所属(市費)コード 742696)	

大阪市立矢田西中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算 【加算配付】配付申請書

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>○ 平成 28 年度の全国学力・学習状況等調査や大阪府チャレンジテストにおける平均正答率で、大阪府平均との比率（対府比）が前年より上回る。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○ 平成 27 年度の生徒アンケートにおける「体育大会や文化祭などの学校行事は楽しく、進んで取り組んでいる」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 85 %以上にする。 (カリキュラム改革関連・マネジメント改革関連)</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【区分 言語力や論理的思考能力の育成】</p> <p>○言語力向上、表現力育成のために、読書活動の推進に取り組む。 (カリキュラム改革関連)</p>	B
<p>指標・読書習慣の育成のため、また教科学習・総合学習における情報センターとしての機能を十分に果たせるように、学校図書館を整備する。</p>	
<p>取組内容② 【区分 特別活動】</p> <p>○生徒の自主的な運営による特別活動を推進するとともに、各行事において「人と人のつながり」や「絆」を大事にした取り組みをおこなう。 (カリキュラム改革関連・マネジメント改革関連)</p>	A
<p>指標・生徒会による週一回の全校集会や、月一回の生徒議会・専門委員会の自主的な運営をおこなう。</p> <p>・様々な行事・活動で、「人と人のつながり」や「絆」を大事にした取り組みをおこなう。</p>	
27 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容① 学校図書館補助員の方を中心に、蔵書の整理・データ化を行い、図書室の整備が進んだ。昼休み以外に金曜日も図書室を開放し、読書活動の推進に取り組んだ。</p>	
<p>取組内容② 執行委員会や子連協等において、生徒会役員自身が自主的に動き中心的な存在感を表すことができた。また、校内外の取り組みにも積極的に参加することができた。</p>	

28年度への改善点

取組内容① 図書室だよりを発行し、図書室に関する掲示物などを充実させて、読書活動を推進していく。学級文庫をもっと活用できるようにする。

取組内容② 部活動や地域のスポーツチームに参加している生徒でも、生徒会活動ができるよう、活動計画を考え取り組んでいく。
また、体育大会・文化祭などより充実した学校行事を展開していく。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容① 生徒、教職員から希望を募って図書購入をし、図書室の整備が進んだ。教科学習・総合学習時に図書室を利用する機会が増えた。

取組内容② 体育委員や文化委員と生徒会が一緒に運営することで、体育大会・文化祭が無事に開催し成功することができた。また、生徒一人一人に達成感を覚えることができた。後期生徒会も全校集会や執行委員会などの運営に努力している。そして、2月・3月の取り組みに向けて日々活動を行っている。

次年度（今後）への改善点

取組内容① 図書室だよりを発行し、図書室に関する掲示物などを充実させて、読書活動を推進していく。学級文庫をもっと活用できるようにする。図書室利用者をもっと増やすために、今以上に多種多様な書籍の充実を図る

取組内容② 様々な取り組みにおいて、教員も分担して仕事ができるようにしていきたい。
少しでも生徒会の活動を活性化できるようにしていく

【様式 3 - 2】

大阪市立矢田西中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算 【加算配付】配付申請書

学校配付申請額 2, 280, 000円

◆学校配付申請額費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料	12-7 損害保険料
	960, 000					

13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費	合計
			1, 320, 000		2, 280, 000

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【区分 言語力や論理的思考能力の育成】

- 言語力向上、表現力育成のために、読書活動の推進に取り組む。

(カリキュラム改革関連)

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
18-2	書棚（文庫本用）@160, 000×2 台	320, 000

取組内容②【区分 特別活動】

- 生徒の自主的な運営による特別活動を推進するとともに、各行事において「人と人のつながり」や「絆」を大事にした取り組みをおこなう。

(カリキュラム改革関連・マネジメント改革関連)

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
18-2	張出舞台@1, 000, 000×1 台	1, 000, 000
11-1	遮光カーテン@40, 000×24 枚=960, 000	960, 000

•

•

•

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になつてもさしつかえありません。

大阪市立矢田西中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算 **【加算配付】** 配付申請書
(補足説明資料)

取組内容①関連 読書活動推進に向けた図書館の整備《書棚の購入》

読書習慣の育成のため、また教科学習・総合学習における情報センターとしての機能を十分に果たせるように、学校図書館を整備する。

図書の蔵書調査で学校図書が不足していたため、昨年度図書を多く購入したが、文庫本用の書棚が不足している状況である。

昨年より、図書館補助員が週に一度、図書館活動に来ていただいているなか、図書館の整備に努めることで、生徒の図書館の利用・読書活動さらには言語活動の充実が期待できる。

取組内容②関連 充実した学校行事 《張出舞台》

確かな学力を身に付ける為に、学校の落ち着いた環境が大きな要因となる。本校がここ数年、一定の落ち着きのもと、生徒が充実した学校生活を送ることができるようにになったその根源の一つに文化祭・体育大会などの学校行事がある。

特に文化祭は、学年・学級・教科・部活動の舞台発表や展示発表に学校総体として一丸となって取り組み、大変充実したものになってきており、生徒はもちろん保護者も楽しみにしている。生徒どうしの「つながり」に加え、生徒と教職員の「つながり」を生み出し、互いの「信頼」関係や「絆」を形成し、本校の根幹となる学校行事となっている。

しかし体育館の舞台が狭いため、毎年発表の内容も制限されがちである。移動式の張出舞台があれば、舞台発表の幅が広がり、より充実した教育活動が展開できる。

なにより、文化祭実施後の生徒向けアンケートによると、本校の生徒達自らが張出舞台の必要性を強く感じており、生徒のやる気や熱意を引き出すためにも張出舞台が必要である。

また、本校の文化祭は土曜授業として、小学生や地域にも公開しており、小中一貫教育の推進、また、特色ある学校文化として、地域にも発信することができる。

ぜひ、張出舞台を使用し、今以上に成就感・達成感ある文化祭の舞台発表にしたい。



取組内容②関連 充実した学校行事 《遮光カーテンの取り換え》

遮光カーテンは、生徒たちにとって、日々の教育活動における、成果や成長を発表する場である体育館に必要不可欠なものである。しかし、現在整備されているカーテンは、その機能を十分満たしているものとは言えず、各所から明かりが漏れ、行事の度にテープで留めるなどして対応している。

そのため、遮光性能を十分に保持し、かつ安全面でも基準をクリアした遮光カーテンの整備は、充実した学校行事の運営に必要不可欠であると言える。

新たに整備された環境で行う学校行事は、生徒の意欲・関心を増進させ、達成感・充実感を向上させることにも繋がることから、是非加算配布を利用し、取り組みを進めたい。

申請受付日
指導部で記入 →
/

【様式 4-1】

(所属(市費)コード 742696)

大阪市立矢田西中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算 **【基本配付】**
配付額変更申請書

既学校配付額 510,000 円

◆学校配付額費目別予算配付変更額(※円単位)

予算費目	8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料
既配付額		50,800			81,400	
変更増減額		88,000			▲10,200	
増減後配付額		138,800			71,200	

予算費目	12-7 損害保険料	13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費
既配付額		326,800	51,000			
変更増減額		▲26,800	▲51,000			
増減後配付額		300,000	0			

◆変更事由

芸術鑑賞の単価落ち及び、多様な体験学習の取組内容の変更に伴う交通費と施設利用料の減額が生じたため。

◆取組内容・予算内訳(増額内容のみ記載)

取組内容①-1～5【区分 各教科 (1 国語 2 社会 3 数学 4 理科 5 英語)】

○言語力向上・基礎学力の定着を図る。

(カリキュラム改革関連)

予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
11-1	朝学習・放課後学習用教材 @2,000×44 冊	88,000

申請受付日
指導部で記入 →
/

【様式 8】

(所属(市費)コード 742696)

大阪市立矢田西中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算 【**基本配付**】決算報告書

学校配付額 510,000円

◆取組内容

取組内容①-1～5【区分 各教科（1国語2社会3数学4理科5英語）】

○言語力向上・基礎学力の定着を図る。 (カリキュラム改革関連)

取組内容②【区分 人権を尊重する教育の推進】

○互いの違いを認め合い、人権尊重の精神と態度を育てる教育を推進する。また、参加型や体験型の学習内容・方法を取り入れ、感性を高める指導を行う。

(カリキュラム改革関連)

取組内容③【区分 区分 特別活動】

○生徒の自主的な運営による特別活動を推進するとともに、各行事において「人と人のつながり」や「絆」を大事にした取り組みをおこなう。

(カリキュラム改革関連・マネジメント改革関連)

取組内容④【区分 キャリア教育の推進】

○生徒一人一人が、将来の生き方を考える力を養う取り組みを行なう。

(カリキュラム改革関連)

◆学校配付額費目別予算執行見込額(※円単位)

予算費目	8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料
既配付額		138,000			71,200	
執行額		111,175			66,400	
不要額		27,625			4,800	

予算費目	12-7 損害保険料	13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費
既配付額		300,000				
執行額		300,000				
不要額		0				

申請受付日
指導部で記入 →
/

【様式 9】

(所属(市費)コード 742696)

大阪市立矢田西中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算 【**加算配付**】決算報告書

学校配付額 0 円

◆取組内容

取組内容①【	】	()
取組内容②【	】	()
取組内容③【	】	()

◆学校配付額費目別予算執行見込額(※円単位)

予算費目	8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料
既配付額						
執行額						
不要額						

予算費目	12-7 損害保険料	13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費
既配付額						
執行額						
不要額						